

Artfull うちうら

(2024) <vol.131>

〔発行〕
内浦公民館
〒919-2351
高浜町山中 104-4-2
TEL.0770-76-2007
FAX.0770-76-2008
E-mail
uchiura_c.c@town.takahama.lg.jp

内浦公民館講座

草木染め教室～杜仲の葉でそめてみよう～

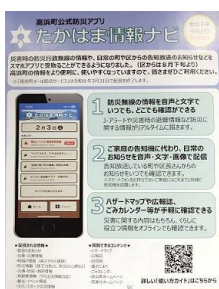


令和6年7月6日(土)

内浦公民館 2階調理実習室で【草木染め教室】を開催しました。講師は永登裕芳理さん。高浜町の町木【杜仲】の葉っぱで、エコバックを染めました。内浦公民館講座でエコバックを染めるのは初めてで、色の出方や模様をイメージしながら輪ゴムを使って、生地をまとめました。上記の写真のように色を定着させる媒染液によって色が変わり、模様もさまざまに仕上がりました。

出張 スマホ教室

7月5日(金) 日引ふれあい広場・7月11日(木) あおば憩いの家



出張スマホ教室を、日引ふれあい広場とあおば憩いの家で行いました。講師は副田宗義さん。たかはま情報ナビアプリ【ライフビジョン】の登録方法を教わりました。携帯の機種によって操作の仕方が違い戸惑う方もおられます。一人一人に分かり易く操作を教えてもらえるので、スマホ教室はとても好評です。スマホは生活の中で、欠かせないものになっています。これからも気軽にスマホ教室に参加してください。皆さん一緒に使い方を共有しましょう！

- 開館時間 午前8時30分～午後10時
- 利用時間 午前9時～午後9時30分 夜間利用が無い場合は午後5時で閉館いたします。

<9月の休館日> 2日(月)・9日(月)・15日(日)・16日(月)・23日(月)・30(月)

そば打ち教室



そば粉に水を入れる所から、注意する点など池田さんの言葉を聞き逃さないよう真剣に作業をしています👀

令和6年7月13日(土)

内浦公民館 2 階 調理実習室で【そば打ち教室】を開催しました。講師は池田康信さん。まず、池田さんがそばを打つ工程を見てから、皆さんも作業を始めました。作ったそばの湯がき方も指導していただき、手打ちそばの魅力を感じる講座になりました。



男の料理教室



令和6年7月24日(水)

内浦公民館 2 階 調理実習室で【男の料理教室】を開催しました。こども未来課の職員2人に簡単に作れて栄養価の高い料理を教わりました。又、味噌汁は塩分測定をして味噌の量を加減して作りました。上記写真はトマトご飯とだし巻き、焼きシュウマイとサラダ、玉ねぎとなすの味噌汁です。この他にポリ袋を使ってプリンも作りました。盛りだくさんのメニューを楽しみながら作る事ができ、家に帰っても作ってみようと意欲的でした。次は何を作しましょうか(へ♪

内浦小学校 1.2 年生内浦公民館見学



令和6年7月5日(金)

内浦小学校 1.2 年生が生活科の学習で、内浦公民館へ見学に来られました。会議室で公民館について一人一人順番に館長に質問している様子です。(写真右)
その後、みんなで館内の部屋を見てまわりました。



館長の《こーひーぶれいく》No.112



今回は 薦 信彦 著 「伝説となった日本人捕虜」です。

1945 年 8 月 8 日ソ連は日ソ中立条約を破棄し、日本に宣戦布告し旧日本領土に侵攻する。

8 月 15 日に日本は無条件降伏を受け入れたため、日本軍は武装解除し、満州にいた約 60 万人の日本軍人や民間人もソ連の捕虜となった。大戦においてソ連の捕虜となったのは欧州で約 412 万 7 千人(ドイツ 239 万人ハンガリー 51 万人ルーマニア 18 万人チェコスロバキア 7 万人等)とされている。

大戦における死傷者はソ連が圧倒的に多く、ソ連 2,060 万人、ドイツ 950 万人、中国 2,100 万人、日本 646 万人、朝鮮半島 200 万人、イギリス 98 万人、アメリカ 113 万人、フランス 75 万人、インドネシア 200 万人、ベトナム 200 万人等と推計されている。労働不足に陥ったソ連は捕虜を労働力として利用し、日本人捕虜の多くを、劣悪な環境の下で極東シベリアでの鉄道、道路、港湾、建物などのインフラ整備に従事させた。

永田行夫 が満州に渡ってきたのは、昭和 17 年の春だった。陸軍の見習士官として、東京立川で3ヵ月の軍事訓練を受けた後、第 10 野戦航空修理廠(しょう)に配属され、満州に赴任した。永田の父は東京帝国大学法学部を出ていたが、行夫が 5 歳の時亡くなり、自身は県立工業中学で建築と航空を学び、横浜高等工業学校(現横浜国立大学)で 3 年間航空工学を学んでいるとき招集されていた。

永田たちの仕事は航空機の修理・修繕だった。昭和 20 年に入ると戦闘機などはほとんど南方に出払い帰ってこなかった。敗戦となり、第 10 野戦航空修理廠の 240 人は 4 個中隊のうちの第 1 中隊とされ、永田は大尉として中隊長を任される。この時 24 歳であった。列車に乘せられ 3 週間、最初はダモイ(帰国)と聞かされていたが、着いたのは、恐れていたシベリアではなく、ウズベキスタンのタシケントだった。永田ら 240 人が収容されたのは第 4 収容所(ラーゲリ)だった。ウズベキスタンは中央アジアの中心的な場所で、中国系、インド系、西洋系などの他民族国家で体格も日本人と変わらず、人懐っこい民族であった。

永田隊に与えられた命令はオペラハウス(ナポイ劇場)の建設だった。音楽やオペラを好むソ連は、モスクワ、レニングラード、キエフ、と並ぶ壮大なオペラハウスを革命 30 周年に合わせ建設しようとしていた。ソ連は各都市にオペラハウスがあるが、1 級の劇場は「ボリショイ劇場」と呼ばれ、タシケントに建設する劇場も、国内に数カ所しかないボリショイ劇場とする計画であった。日本人は勤勉で手先が器用と思われており、建築に適した永田ら工兵が選ばれたのだった。永田は 25 歳にして他の収容所からきた捕虜を含め第 4 収容所 457 人のまとめる責任者としての任務を負った。幸運だったのはこの地方は気候が良く、3 度の食事と日曜の休日、8 時間労働と、噂に聞いたシベリアの状況とは違っていたことであり、収容所長は 30 代前半で教養があり、永田の要望も理解してくれる人物だった。作業は土木工事、床はり、測量、高所作業、レンガ積、電気工事、鉄筋組み、足場組み、大工、壁の彫刻など多種多様であった。完成期限の 2 年間はこの収容所で暮らすこととなった。

永田はここでの大目標として「我々は劇場を完成させることであるが、最も重要な使命は全員が無事で健康な状態で帰国し、家族と再会することだと肝に銘じて欲しい。そのためには、全員が協力して、皆でダモイを実現するために気持ちを一つにして欲しい。」と示した。作業には 1 日のノルマが課せられ、達成できないと、普段でも少ない食事が減らされることとなっており、土木作業やレンガ積みのような重労働はノルマが達成できず、食事が減らされることが起こり、隊員の不満が高まっていた。永田は食事の少ない者に多い者から分け与え平等となる方法を収容所長に掛けあい認めさせた。また、隊員は将棋やマージャン、トランプなどを手作りし、余暇を楽しみ、マンドリンやギターまでも器用に作り、演芸会まで催し、ロシア人やウズベキスタン人とともに交流を深めた。

他の収容所に於いては、ソ連側からダモイを餌に、若い捕虜たちにマルクス・レーニン主義を叩き込まれ、アクチブとよばれる民主活動家が各収容所で、同胞にリンチを加え、命まで奪ったことが多々あり、第 4 は民主運動が遅れていると批判されたりしたが、皆が力を合わせて歴史的な劇場建設に係れたことで、民主運動は起きなかった。ナポイ劇場は 2 年で完成し、事故で亡くなった 2 名を除き、全員が無事に帰国することになる。永田の最後の仕事は、隊員全員の名前と住所の暗記であった。文書にするとスパイ容疑をかけられるからであった。(裏面ににつづく)

それから 19 年後の 1966 年、タシケントは直下型の大地震に襲われ、街はほぼ壊滅する。しかし、その中でナボイ劇場だけは凜として建ち続けていた。どこも壊れることなく、悠然として佇んで、避難所として大きな役割を果たす。捕虜の身であっても、最大限の努力をし、将来、笑いものになるような劇場を作ったら日本人の恥になる。との思いで造られたナボイ劇場の話は、日本人の技術の高さや勤勉さを象徴する話として、中央アジアの各国に語り継がれている。



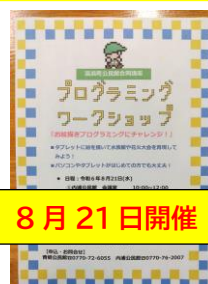
ウズベキスタンは 1991 年のソビエト崩壊と同時に独立し、ナボイ劇場には「日本人の捕虜が建てた」と書かれた石碑があったが、新しい大統領は「彼らは恩人だ、間違っても捕虜と書くな」と命令して、「日本国民がナボイ劇場の建設に参加し、完成に貢献した」と書き直させたという。



(石碑)



これからの公民館講座のお知らせ



8月21日開催

高浜町公民館合同講座(舞鶴高専とのコラボによる講座)

プログラミング ワークショップを開催!

内浦公民館で小学生対象に開催します。『お絵描きプログラミングにチャレンジ!』と題してタブレットを使って楽しく学びます。(お申込み受付は終了しました)



8月28日開催

マイクロプラスチック再利用教室をお世話になっている環境アーティストの Ka_Lanikai (永野由佳)さんを講師に『キャンドルをつくろう』を開催します。この講座では、高浜町の海で拾った貝殻を使います。自然資源を大切にしたいですね。小学生以上の高浜町内の方ならどなたでも参加出来ます。この機会に自分だけのオリジナルキャンドルを作りましょう(*^*)詳しくはチラシをご覧ください、お申込みください!

■ 元気あっぷ生き生き倶楽部

【次の開催日】8月20日(火) 13:30~15:00 【会場】内浦公民館 2 階 多目的ホール

■ らくらく運動教室

【次の開催日】8月27日(火) 13:30~14:30 【会場】内浦公民館

*どちらも予約は必要ありませんので、初めての方も気軽にお越しください。



<お知らせ> 夏休みこども図書スタンプカードについて

☆ 実施期間 7月20日(土)~8月31日(土)

☆ 図書の貸し出し 1冊につき 1つスタンプを押します。

20 個になったら景品と交換できます。

